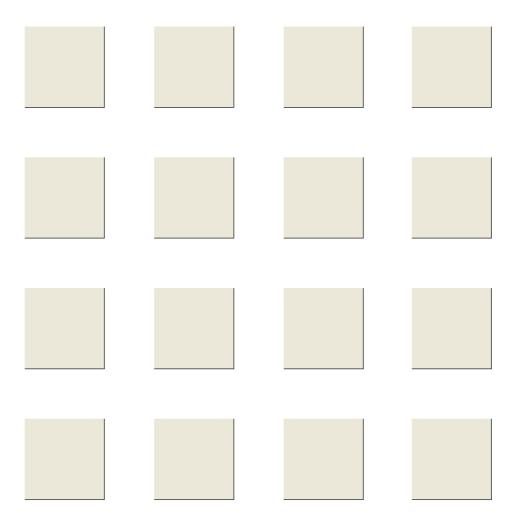
第92期

事業報告書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで



次世代マテリアルのパイオニア。 未来への跳躍



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第92期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜ります ようお願い申し上げます。

平成15年6月



取締役社長 吉田省三

営業の概況

(1) 営業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、輸出の増加や数年に亘る経営改善努力等により一部の業界に業績の回復が見られたものの、長引くデフレ不況の影響から個人消費や民間設備投資は依然として低迷を続け、公共投資も財政状況の悪化から減少傾向にあるなど、全体として停滞感を強めたまま推移いたしました。

当社の関連する業界におきましては、民間設備投資の低迷に加え、産業構造の変革がグローバル規模で進展し、市場の海外シフトおよび低価格化の動きが急速に拡大するなど、経営環境は更に厳しさを増して推移いたしました。

このような状況のなか、当社といたしましては、海外市場への積極的な展開を図るとともに、既存市場の掘り起こしと、コア製品を軸に新製品、新用途向け製品等の拡販を強力に推し進めましたが、当期の売上高は、前期に比べ5.4%減の92億6千3百万円となりました。

利益面につきましては、急激な市場環境の変化のなか、懸命な拡販活動にもかかわらず 売上高は減少いたしましたが、前期に実施した早期退職優遇制度の拡大適用等による経営 改善効果に加えて、材料費の削減や生産の効率化等、ローコスト経営への取り組みを積極 的に行った結果、経常利益は1億3千2百万円となりました。また、当期利益は5千5百 万円となり、前期の経常損失および当期損失から低い利益水準ではありますが黒字に転換 いたしました。

(2) 当社が対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、景気回復の足取りは依然として重く、加えてイラク戦争後の米国経済の動向や新型肺炎(SARS)など景気の先行きに対する懸念要因もあり、引き続き厳しい経済状況で推移すると思われます。

このような状況の下で、当社はソリューション提案型企業をめざして、営業、技術一体となった営業展開を行い、放射線遮蔽用の樹脂タングステンシートや移動体通信用の誘電体セラミックス等、新商品の一層の拡販を図るとともに、マーケットニーズに合った商品開発を強力に推進してまいります。また、国際化への積極的な対応として、本年1月に香港ブランチを開設し、今後の中国事業の推進拠点として、販売、調達、情報収集活動を行うとともに、中国合弁会社との連携を強化し、中国事業を更に強化してまいる所存であります。

なお、環境マネジメントの国際標準であるISO14001を本年3月に宇美工場、 5月に飯塚工場で取得し、既に取得済みの基山工場を合わせ、3工場すべて取得いたしま した。今後も環境保全に積極的に取り組んでまいります。

部門別売上高の状況 (平成14年4月1日から平成15年3月31日)

電気関連製品

接点製品は重電・弱電向けともに、電力関連の設備投資の減少等により国内市場は縮小が続いており、海外向けも大型案件が少なく厳しい状況で推移しました。一方、照明用、コピー機用のタングステンワイヤー製品や放電灯用製品が堅調な需要に支えられて増加したため、前期比1.1%増の41億9千2百万円となりました。



機械関連製品

NTダイカッター製品が従来のサニタリー分野に加えて新用途への展開を行い、また海外市場での拡販活動とアフターサービス体制の充実により堅調に推移しましたが、超硬リング・スリーブ製品は市場規模の縮小と電力関連の設備投資抑制で減少し、切削工具も総じて低調に推移したため、前期比1.0%増の29億1千5百万円となりました。



電子関連製品

超精密加工品がデジタルカメラの普及により大幅に増加し、半導体製造装置用部品も新材料の開発品で伸長しましたが、磁気ヘッド基板はハードディスクドライブ装置の技術革新に伴う製品の小型化が進んだことにより、基板の使用量が伸びず、各種パッケージ用ヒートシンクも光通信関連の事業縮小により大幅に減少したため、前期比19.4%減の20億1千8百万円となりました。



その他製品

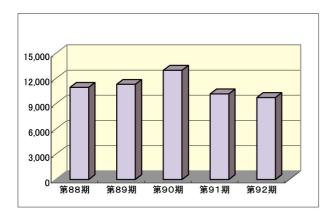
形状記憶合金製品が個人消費の低迷により減少傾向が続いており、またプラントも大型の案件がなく、前期比45.7%減の1億3 千6 百万円となりました。

財務ハイライト

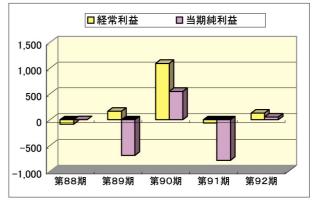
(単位百万円)

| | | | | ` | 1 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 回 次 | 第88期 | 第89期 | 第90期 | 第91期 | 第92期 |
| 決 算 年 月 | 平成 11 年3月 | 平成 12 年3月 | 平成 13 年3月 | 平成 14 年3月 | 平成 15 年3月 |
| 売 上 高 | 10, 952 | 11, 295 | 12, 976 | 9, 791 | 9, 263 |
| 経 常 利 益 | △ 82 | 167 | 1, 094 | △ 63 | 132 |
| 当 期 純 利 益 | 1 | △ 607 | 553 | △ 784 | 55 |
| 純 資 産 額 | 9, 737 | 8, 597 | 9, 449 | 8, 322 | 8,090 |
| 総 資 産 額 | 18, 989 | 18, 621 | 20, 770 | 18, 245 | 17, 583 |
| 自己資本比率(%) | 51. 3 | 46. 1 | 45. 5 | 45. 6 | 46.0 |
| 1株当たり純資産額(円) | 350. 5 | 308. 9 | 340. 2 | 299. 7 | 293.8 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 0. 1 | △ 21.9 | 19. 9 | △ 28.2 | 2.0 |
| 1株当たり配当額(円) | 4.00 | 5. 00 | 7. 00 | 3. 00 | 4.00 |
| (うち中間配当額) | (-) | (-) | (-) | (0.00) | (2.00) |

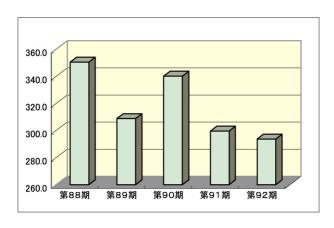
売上高(百万円)



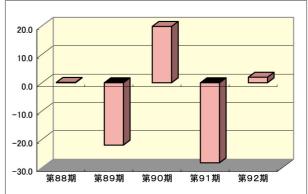
経常利益・当期純利益(百万円)



1株当たり純資産額(円)



1株当たり当期純利益(円)



貸借対照表 (平成 15年3月31日現在)

| | | | (単位千円) |
|---|--|--|--|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 日 | 7, 369, 558 1, 977, 766 1, 002, 169 2, 378, 875 174, 112 250, 188 1, 103, 079 19, 852 10, 961 110, 387 296, 763 59, 203 △13, 801 10, 213, 737 8, 454, 728 5, 949, 393 325, 084 1, 680, 727 | 日 目 部債 動支買短長未未未未賞そ定長退役長預そ の負払 期入 がしまする がしまする がしまする がしまする がしまする がしまする がしまする がしまする でしまる でしまする でしまる でしまする でしまる | 4, 386, 445 151, 974 716, 733 1, 980, 000 963, 880 15, 341 11, 672 49, 674 125, 647 281, 000 90, 520 5, 105, 976 2, 234, 755 1, 876, 983 163, 602 789, 236 31, 482 9, 918 |
| 車両運搬具工具器具備品 | 2, 730 141, 232 | | 9, 492, 422 |
| 土建 形施フ 資 期延の倒 した 一次 質 期 の 一次 資 期 延の 倒 の の の の の の の の の の の の の の の の の | $334, 033$ $21, 528$ $22, 791$ $9, 406$ $13, 384$ $1, 736, 216$ $955, 058$ $296, 602$ $203, 309$ $227, 304$ $70, 854$ $\triangle 16, 912$ | (資本の部) 資資本余余金準備金金金準備金金金準備金金乗所を (資本利益・利益・ 資本のの部) 資本のののでは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部 | 2, 509, 500 2, 229, 001 2, 229, 001 3, 135, 278 2, 357, 225 1, 357, 225 1, 000, 000 778, 052 (55, 401) 255, 529 △38, 435 8, 090, 873 |
| 資 産 合 計 | 17, 583, 295 | 負債・資本合計 | 17, 583, 295 |

⁽注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 12,616,039 千円

^{2.} 表示金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書 (平成 14年4月1日から平成 15年3月31日まで)

| | | (単位十円) |
|---------------|----------|-------------|
| 科目 | 金 | 額 |
| (経常損益の部) | | |
| 営 業 損 益 の 部 | | |
| 売上高 | | 9, 263, 641 |
| 売 上 原 価 | | 7, 805, 840 |
| 販売費及び一般管理費 | | 1, 384, 229 |
| 営 業 利 益 | | 73, 571 |
| 営 業 外 損 益 の 部 | | |
| 営 業 外 収 益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 51, 209 | |
| その他の営業外収益 | 337, 984 | 389, 193 |
| 営 業 外 費 用 | | |
| 支 払 利 息 | 78, 772 | |
| その他の営業外費用 | | 329, 790 |
| 経 常 利 益 | | 132, 975 |
| (特別損益の部) | | |
| 特別 利 益 | | |
| 土 地 売 却 益 | 22, 755 | |
| 貸倒引当金戻入益 | | |
| 特 別 損 失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 42, 644 | |
| 貸倒引当金繰入額 | 5, 250 | 47, 894 |
| 税 引 前 当 期 利 益 | | 117, 836 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13, 283 | |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 49, 151 | 62, 434 |
| 当 期 利 益 | | 55, 401 |
| 前 期 繰 越 利 益 | | 368, 171 |
| 利益準備金取崩額 | | 410, 000 |
| 中 間 配 当 額 | | 55, 521 |
| 当 期 未 処 分 利 益 | | 778, 052 |

⁽注)表示金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

利益処分

| 科 目 | 金 額 |
|-------------------------------------|---|
| 当期未処分利益買換資産圧縮積立金取崩額計 | 778, 052, 190 円 56, 184, 485 834, 236, 675 |
| これを次のと | おり処分します。 |
| 買換資産圧縮積立金 利 益 配 当 金 (1株につき2円) | 27, 795, 275 円 55, 072, 732 |
| 次 期 繰 越 利 益 | 751, 368, 668 |

- (注) 1. 買換資産圧縮積立金取崩額は、租税特別措置法に基づくものであります。
 - 2. 買換資産圧縮積立金は、地方税法の改正による実効税率の引き下げに伴う繰延税金負債の修正額を積立てるものであります。
 - 3. 利益配当金は、自己株式を除いて計算しております。
 - 4. 平成14年12月10日に55,521,250円(1株につき2円)の中間配当を実施しました。

企業結合の状況 重要な子会社の状況 (平成 15 年 3 月 31 日現在)

| 会 社 名 | 資本金 | 議決権比率 | 主要な事業内容 | |
|----------------|-----------|--------|--------------------------|--|
| (株)福岡機器製作所 | 百万円 20 | 100. 0 | 産業用機械装置類の製造販売並びに修理に関する工事 | |
| (株)昭和電気接点工業所 | 百万円 10 | 100. 0 | 電気接点、その他電子部品の製造販売 | |
| (株) エヌ・ティーサービス | 百万円 10 | 100.0 | 不動産の管理、損害保険・生命保険代理業、商品販売 | |

- (注)連結対象子会社は上記の子会社3社であり、持分法適用関連会社は下記の海外合弁会社4社であります。
 - サハビリヤニッタン株式会社 タイ王国バンコク市
 - ・SVニッタンプレシジョン株式会社 タイ王国バンコク市
 - ・四平日本タングステン有限会社 中国吉林省四平市
 - ・九江日本タングステン有限会社 中国江西省九江市

連結貸借対照表 (平成 15 年 3 月 31 日現在)

| | | | (単位下円) |
|-------------|------------------|-----------------|--------------|
| 科目 | 金 額 | 科目 | 金額 |
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流 動 資 産 | 7, 669, 923 | 流動負債 | 4, 452, 853 |
| 現金及び預金 | 2, 143, 482 | 買 入 債 務 | 854, 523 |
| 売 上 債 権 | 3, 458, 759 | 短 期 借 入 金 | 2, 943, 880 |
| たな卸資産 | 1, 647, 834 | そ の 他 | 654, 450 |
| そ の 他 | 434, 379 | 固 定 負 債 | 5, 277, 567 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 14, 533 | 長期借入金 | 2, 234, 755 |
| 固 定 資 産 | 10, 332, 606 | 退職給付引当金 | 2, 031, 363 |
| 有 形 固 定 資 産 | 8, 534, 477 | そ の 他 | 1, 011, 449 |
| 建物及び構築物 | 6, 292, 227 | 負 債 合 計 | 9, 730, 421 |
| 機械装置及び運搬具 | 1, 733, 949 | (少数株主持分) | |
| そ の 他 | 508, 300 | 少数株主持分 | _ |
| 無形固定資産 | 59, 081 | (資本の部) | |
| 投資その他の資産 | 1, 739, 047 | 資 本 金 | 2, 509, 500 |
| 投資有価証券 | 1, 151, 172 | 資本剰余金 | 2, 229, 001 |
| そ の 他 | 604, 633 | 利 益 剰 余 金 | 3, 468, 068 |
| 貸 倒 引 当 金 | △16, 759 | その他有価証券評価差額金 | 255, 421 |
| | | 為替換算調整勘定 | △ 151, 446 |
| | | 自己株式 | ∆38, 435 |
| | | 資 本 合 計 | 8, 272, 108 |
| 資 産 合 計 | 18, 002, 530 | 負債・少数株主持分及び資本合計 | 18, 002, 530 |

⁽注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 12,972,017 千円

^{2.} 表示金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

連結損益及び利益剰余金結合計算書 (平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(単位千円)

| | | | (単位 竹) |
|-------|----------|--------------|-------------|
| 科 | | 目 | 金額 |
| 売 | 上 | 高 | 9, 672, 326 |
| 営 | 業費 | 用 | 9, 620, 868 |
| 営 | 業利 | 益 | 51, 458 |
| 営 業 | 外 | 益 | 390, 518 |
| 営 業 | 外 | ₹ 用 | 309, 857 |
| 経 | 常 利 | 益 | 132, 118 |
| 特 | 引 利 | 益 | 34, 015 |
| 特 | 引 損 | 失 | 47, 894 |
| 税金等訓 | 图整 前 当 期 | 純 利 益 | 118, 239 |
| 法人税、 | 住民税及び | 事業税 | 19, 597 |
| 法人 | 锐 等 調 | 整額 | 66, 444 |
| 当 期 | 純禾 | 益 | 32, 197 |
| 利 益 剰 | 余金期首 | 前 残 高 | 3, 577, 714 |
| 利 益 乗 | 余 金 減 | 少 高 | 141, 843 |
| 利 益 剰 | 余金期末 | · 残 高 | 3, 468, 068 |

⁽注)表示金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

| | (中国111) | |
|------------------|-------------|--|
| 科目 | 金額 | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1, 069, 236 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13, 013 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △602, 295 | |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1, 308 | |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 452, 619 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1, 690, 863 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2, 143, 482 | |

⁽注)表示金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

会社の概要 (平成15年3月31日現在)

設 立 1931年(昭和6年)4月1日

資 本 金 25億950万円

従業員数 497名

本 祖 福岡市博多区美野島一丁目2番8号

事業所 東京支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、香港ブランチ

基山工場、飯塚工場、宇美工場

役 員 取締役社長(代表取締役) 吉 田 省 三 (新任)

専務取締役 小 倉 伸一 常務取締役 石 橋 修 本 田 卓実 取 締 役 取 締 役 怡 土 宣彦 高 尾 取 締 役 幸生 柘 植 取 締 役 成彬 鎌田 取 締 役 迪貞 元 戎 常任監査役(常勤) 弥 吉 芳 道 原 監 査 役(常 勤)

監 査 役 夕 村 毅

(平成15年6月27日現在)

株式の状況 (平成15年3月31日現在)

会社が発行する株式総数100,000,000株発行済株式の総数27,777,600株

1単元の株式の数1,000株株主数3,983名

大 株 主

| 株 主 名 | 持株数(千株) | 議決権比率(%) |
|----------------|---------|----------|
| 株式会社 東 芝 | 4, 959 | 18.3 |
| 九州電力株式会社 | 1,666 | 6. 1 |
| 株式会社 福 岡 銀 行 | 1, 346 | 5. 0 |
| 共栄火災海上保険相互会社 | 1, 117 | 4. 1 |
| みずほ信託銀行株式会社 | 6 4 3 | 2. 4 |
| 株式会社 日立製作所 | 6 1 9 | 2. 3 |
| 明治生命保険相互会社 | 6 0 1 | 2. 2 |
| 株式会社 新 生 銀 行 | 5 6 8 | 2. 1 |
| 日本タングステン従業員持株会 | 5 2 7 | 1. 9 |
| 株式会社 りそな銀行 | 491 | 1. 8 |
| 株式会社 UFJ銀行 | 491 | 1. 8 |

株主メモ

決 算 期 3月31日

基 準 日 ・定時株主総会、利益配当金3月31日

• 中間配当金

そのほか、必要あるときは、あらかじめ

9月30日

公告して定めます。

定時株主総会 6月

1単元の株式の数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第2部

福岡証券取引所

名義書換代理人 東京都千代田区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

みずほインベスターズ証券株式会社 本支店

お問い合わせ先 〒135-8722

東京都江東区佐賀一丁目17番7号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話(03)5213-5213(代表)

決 算 公 告 当社ホームページに掲載

ホームページアドレス http://www.nittan.co.jp/

株券失効制度創設のご案内

昨年、「商法等の一部を改正する法律」(平成 14 年法律第 44 号)が成立し、本年 4 月 1 日より、従来の公示催告、除権判決制度に代り、株券失効制度がスタートいたしました。

株券を喪失された場合の喪失登録申請手続きは、名義書換代理人が行いますので、 株券喪失に関する具体的な手続きやお問い合わせは、当社の名義書換代理人の「みずほ 信託銀行」あてお願い申し上げます。

日本タングステン株式会社

本 社 〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目2番8号 TEL (092)415-5500(代表) FAX (092)415-5511